

COOP-JOSO News Letter

【ものづくり 人づくり 地域づくり】 茨城産地元コシヒカリ放射能検査結果

何よりも嬉しいお知らせ めぐみちゃんの数値に見入る、秋の喜び

もう一步、もうあと一步と

原発事故ー放射能汚染から1年半

生産者と共に 母なる大地を信じて
ここまでできました！

地元茨城 めぐみちゃんコシヒカリ

白米 最高値 **0.46** ベクレル / kg7 割が検出限界 **0.20** ベクレル / kg **以下**

土壌がセシウム固着して、
作物への移行は抑制されている！
母なる大地に感謝。
地域自給に再結集を！



今週、別チラシで
2012 年産契約者募集！

「秋の組合員懇談会」日程一覧・・・ぜひお集まり下さい！

地 区	日 程 (曜)	時 間	会 場
取手地区	10月3日(水)	10:00 ~ 12:00	取手中央労金会議室
土浦・阿見地区	10月4日(木)	10:00 ~ 12:00	土浦四中地区公民館
流山地区	10月5日(金)	9:45 ~ 11:45	流山生涯学習センター和室
柏地区	10月9日(火)	10:00 ~ 12:00	柏市勤労会館和室
松戸地区	10月11日(木)	10:00 ~ 12:00	松戸市常盤平市民センター

各地区の理事・総代さんが地区別のチラシを作ってお案内しています。
地区ごとに楽しい試食や懇談を計画していますので、ぜひご参加下さい。

- (1 P) 地元茨城産コシヒカリ 嬉しいお知らせ 放射能汚染から1年半、大地と生産者を信じて
(2 P) めぐみちゃんコシヒカリ放射能検査 詳細
(3 P) 秋の組合員懇談会 我孫子地区、つくば地区 組合員の感想
(4 P) 同上つづき せいきょうまつり協力者募集 やさとの仲間交流会ご案内 牛久放射能講演会ご案内

2012 年 茨城産おコメの放射能検査

大地を信じて 生産者と共に
「めぐみちゃん」白米 0.5 ベクレル以下！

常総生協 食品検査限界

	2011 年度	2012 年度
一般食品	30 Bq/kg	10 Bq/kg
コメ	1.0 Bq/kg	0.2 Bq/kg
牛乳	10Bq/kg	1.0 Bq/kg

【1】 めぐみちゃんコシヒカリ放射能（昨年との比較）

白 米			玄 米		
	2011 年度	2012 年度		2011 年度	2012 年度
最高値	1.60 Bq/kg → (内 Cs137 : 1.60Bq/kg)	0.46 Bq/kg (内 Cs137 : 0.37 Bq/kg)	最高値	3.30 Bq/kg → (内 Cs137 : 2.2Bq/kg)	1.16 Bq/kg (内 Cs137 : 0.71 Bq/kg)
平均	不検出あり平均とれず	7割が不検出で平均とれず	平均（幾何）	2.25 Bq/kg →	0.70 Bq/kg
最低値	不検出 1.0Bq/kg 以下 →	7 割不検出 0.2Bq/kg 以下	最低値	0.90 Bq/kg →	0.31 Bq/kg
検体数	12 検体	11 検体	検体数	5 検体	11 検体
測定量	500g	2kg (2%マリネリ容器)	測定量	500g	2kg (2%マリネリ容器)
測定時間	5.5 時間	5.5 時間	測定時間	5.5 時間	5.5 時間
検査機関	同位体研究所	常総生協	検査機関	同位体研究所	常総生協
検査機器	ゲルマニウム半導体	ゲルマニウム半導体	検査機器	ゲルマニウム半導体	ゲルマニウム半導体

【2】 田植え前4月のセシウム土壌沈着量と9月玄米移行率

	水田土壌沈着量平均※（4月）				→ 玄米への移行平均※（9月）				137 移行率
	ほ場数***	Cs134	Cs137	合計	検体数	Cs134	Cs137	合計	(TF***)
2011 年度	12 ほ場	107	123	230	5 検体（同位体研）	0.75	1.50	2.25	0.0122
2012 年度	44 ほ場	82	116	198	11 検体（常総生協）	0.26	0.44	0.70	0.0038
低減率		82%	94%	86%				28%	
10 年後予測		4	85	89	10 年後 2021 年予測	0.013	0.358	0.371	0.004

※ 土壌セシウム沈着量平均および玄米セシウム濃度平均は Cs134、Cs137 のそれぞれの「幾何平均」をとりました。

※※ 「移行率 (TF)」は、セシウム137の玄米濃度（9月）を土壌沈着量（4月田植前）で割ったもの。2年目に入り土壌粒子（粘土・腐食有機物）へのセシウム固着がすすみ、移行率が低減している様子です。

※※※ 昨年は事故直後で検査も外部委託だったことから田んぼの土壌も玄米も検体が少数でしたが、今年は生協の検査機を用いて 11 生産者 44 枚の田んぼの土壌沈着量、玄米も生産者単位で 11 検体を検査しました。

【3】 白米の Cs137 最高 0.37Bq/kg の汚染は 1970 年代初頭レベル

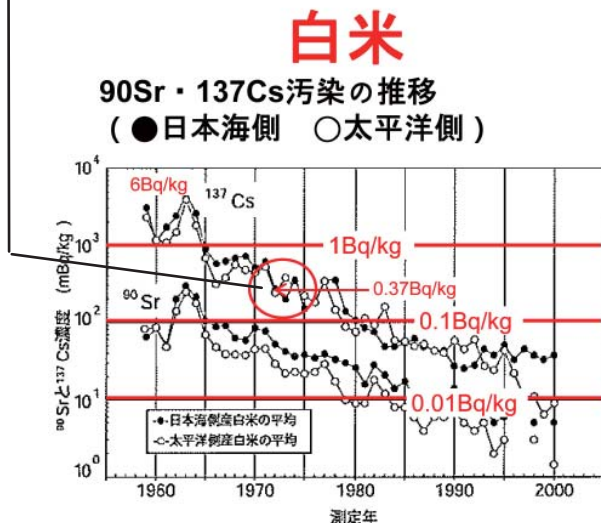


図4 日本海側産白米と太平洋側産白米の
90Srと137Cs濃度の経年推移

農業環境技術研究所「わが国の米、小麦および土壌における90Srと137Cs濃度の長期モニタリングと変動解析」(2006)より

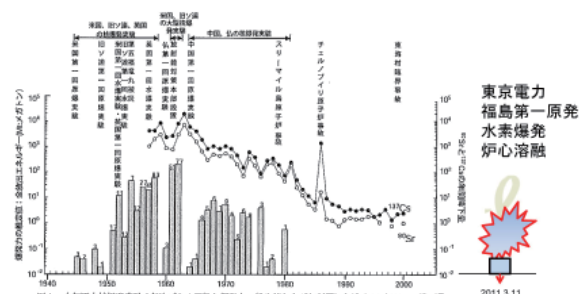


図1 大気圏内核実験の年次ごとの放射能と農産物の濃度およびわが国における90Srと137Csの降下量
(原子力安全委員会(1983)、青い山(1986)および気象庁「放射線観測報告」(2011)を参考に作成)
(注) 降下量は農産物の濃度、その上の数字は放射線測定回数を示す。横軸は90Srと137Csの中間降下量である。

農業環境技術研究所「わが国の米、小麦および土壌における90Srと137Cs濃度の長期モニタリングと変動解析」(2006)より

←昨年9月の News Letter で紹介した日本のお米の放射能汚染の推移。

戦後の米ソ中国ほかの大気圏核実験によって 1964 年をピークに日本にもセシウムやストロンチウムが降り注ぎ、全国のお米が汚染された。

今、福島第一原発事故により、茨城産コシヒカリは 1970 年代初頭に相当する汚染レベルに。

秋の地区別組合員懇談会（今週は 9/24 つくば地区と 9/26 我孫子地区）

食べ上手は組合員の心意気 湧き立つおしゃべり 味覚の秋に

【9/24 つくば地区】

○いつもありがとうございます。ニュースレターで原発などの情報読ませて頂いています。懇談会でも、勉強されてる方も多いようで、いろいろお話しが聞けて良かったです。知ってて生活するのと知らないでは、大きな違いがあると思う。出来ればですが、お料理教室（発酵食品）など使ってして頂けたら参加したいです。（つくば市 千葉）

○色々な場所で、行事参加回数を重ねる度に、馴染みの親子連れの方々、新たなる出会いができた方々と時間を共に過ごせ、有難く思っています。若いお母さん達とは、小さいお子様を抱えての参加なのでどうしても落ち着いてお話をするのは無理でしょう。何か工夫があったら良いかなと思いました。（つくば市 高橋）

○子供がぐずったり、部屋から出てしまったりしてほとんどお話に参加出来ず、残念！！でした。うるさくしてすみません。「家族の勝手でしょ！」という本をご存じでしょうか。使い捨てカメラを渡して何日間かの食事を記録してもらい、それを公開したものです。常総生協の組合員の皆さまは、きっと日々の食事に手をかけ、心をくだいていらっしゃる方が多いので、あそこまですごい（ヒドイ）ことはないと思うのですが、野菜の保存方法とか、意外に私たちの世代は知らないのかもしれません。先輩方からすれば当たり前すぎることも。ちなみに、スーパーで買った里芋が、調理してもあまりに泥くなくて、家族にも不評、私も凹みました。皮を厚めにむき、塩もみしてぬめりもとったり水洗いしてみたりしたのですが、里芋の泥臭さをとる方法、どなたかご存じでしたら教えてください。そういうことをコツコツ伝え続けていくことを大切にしていきたいですね。（つくば市 稲垣）

○途中参加になりましたが、原発のことから、身近な食材の話まで幅広い話題を深く広く聞くことができて良かったと思います。（つくば市 竹植）

○すみません、子どもがうるさくしまして……。先



週あたり出ていたおためし 1000 円セットが常に頼めるようになると、急にお引越されしてきた方にもお誘いしやすいです。放射能も気にされていました。皆でお料理しながら情報交換とか出来る楽しいと思います。（つくば市 倉持）

○途中、子供が外に出て話を最後まで聞けず残念でした。原発ゼロの話で「原発はいらないと言ったら不良債権」というのは納得でした。電気が足りる？ 足りない？ の議論とは次元が違い、話し合いが進まないのだと感じました。山木屋さんの牛乳の話は、やるせなくなりました。生産者の方の生活が壊れてしまって、精神的にもお辛い状況で……。原発事故から、現在は普通に生活している私たちですが、まだまだ様々な状況に置かれている方がいらっしゃるのですね。（つくば市 北村）

○原発について～いくら話し合っても結論はないと思います。時間を費やす必要はあるのか疑問です。ただ、喉もと過ぎれば……。ではだめですね。どうしたら良いのでしょうか。（つくば市 手塚）

○商品について～野菜などの処理方法の小冊子。なぜ調味料が高いのかについて知らせるなどの「お知らせ活動」ができるといいと思いました（絵は描けませんが文はかけます）。いろんなバックグラウンドの方がいて、もっともっと意見が交換できればいいと思いました。託児があるとお母さんたちも気軽に参加したり、途中退出がなくなるかとも思いました。（つくば市 浅野）

【我孫子地区】

○和気あいあいと色々な話ができてよかったです。みなさん手作りや食に対しての意識が高いので刺激を受けました。もっと生協さんを活用したいと思いました。(我孫子市 田中)

○はじめて参加して、皆さんの熱い話に刺激されました。私も勉強しないと・・・と思いました。ありがとうございました。(我孫子市 牛尾)

○わかめの養殖～ロープに種付けしてる話は知りませんでした。三陸沖のわかめはこわくて買っていませんでした。知って良かった。山木屋牧場さん、東北の方々が身内みたいに感じています。元気になってほしいです。原発止めないとだめですね。セシウム計測はホント細かくゲルマニウムで計測してくれてありがとうございます。次はストロンチウムも・・・よろしくお願いします。(我孫子市 原嶋)

○今回参加できて良かったです。こうじを使って甘酒を作りたいと思います。魚介類の不安が少しなくなりました。(我孫子市 田口)

○生協さんの方針をひとつひとつ聞いて、なるほどがんばっていらっしゃるな～と思った。福島、その他の東北の生産者さんの現状もわかった。消費者として何ができるか・・・など考えさせられる。放射能の現状についても、各品目について細かく教えていただけてよかった。お魚やエビ、イカなど海の



産物については、それぞれセシウムの移行率もちがうことなど、知らないことも多く「なるほど～!!」と思った。組合員さんの知識やアイデア(甘酒のつくり方など)も細かく教えていただけて、すごく為になった。もっと自分で手をかけてご飯をつくらなきゃと思った(汗)。発酵食品をもっととらなきゃ・・・とか、海藻ももっとたべなきゃ・・・とか反省しきりでした・・・。(我孫子市 新井)

○これからの福島のお話は良かったです。一人(小人数)なので、消費のお手伝いできる事はあまりなく、心苦しく思っています。末永くお付き合いさせていただけたらとおもいます。放射能に対する食物の話はとても参考になりました。(我孫子市 谷島)

○近頃手作りしなくなっていましたので、ちょっと手を加えようと思いました。加工品のセシウムや魚その他のストロンチウムがとても気になっています。測れるようになったらいいんですケド・・・ね。他の人からお米のことや、甘酒の話が聞けて楽しかった。出不精なので・・・来てみて良かったです。しょうゆこうじ・作りたいと思います。(我孫子市 落合)

生産者と秋の収穫体験交流会

有機野菜の旬を収穫しよう！
やさとの仲間の畑に集合

10月20日 (土)

9:30～15:00 頃

作業できる格好で、おべんとう持参
お野菜は穫りたてを調理します！

詳しくは今週の別
チラシ案内で



秋のせいきょうまつい

11月3日(土) 本部開催

お手伝いさん募集！

今週の別チラシでご案内
ご協力おねがいします

牛久に放射能が降った日②
山崎久隆さん講演会

「わが子を守る食べ物とくらし」

10月27日(土) 14:00～

牛久市運動公園体育館